

(図 1)

(マリアナ海域の海底火山「NW ロタ-1」の位置)



図 1: 調査海域。

伊豆小笠原マリアナ島弧はフィリピン海プレートに太平洋プレートが沈み込み、島弧の火成活動を生じている、一連の沈み込み帯である。マリアナ海溝から太平洋プレートが沈み込み、マリアナ島弧の火山島や海底火山を形成している。調査海域はその一部(南部マリアナ海底火山群)に相当する。伊豆小笠原諸島は同様に伊豆小笠原海溝から太平洋プレートが沈み込み、伊豆小笠原諸島の火山島(大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鳥島など)や海底火山(明神礁、スミスカルデラなど)を形成している。

(図 2)

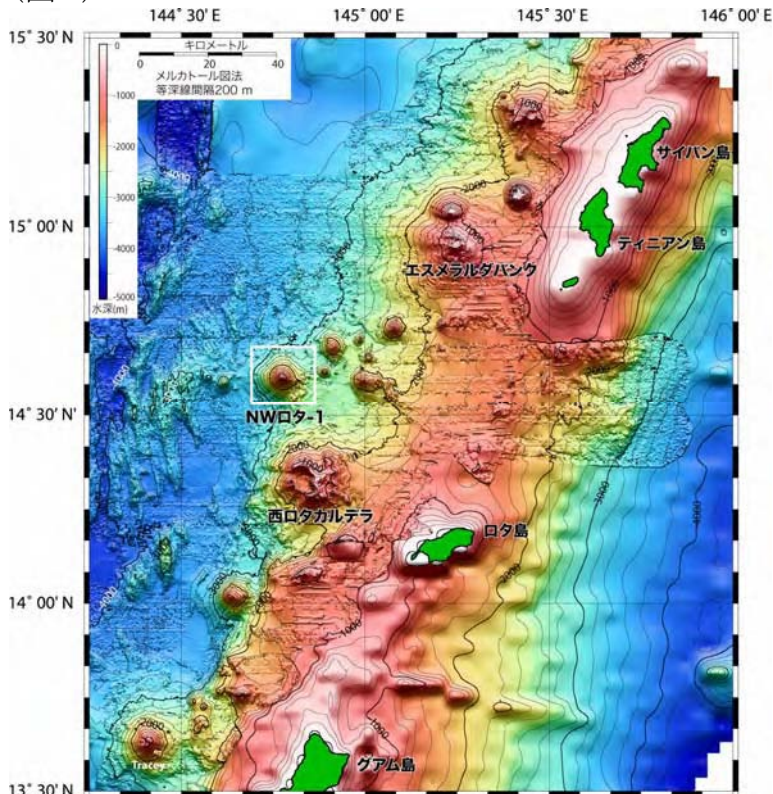


図 2: 噴火している海底火山「NW ロタ-1」周辺の地形図。

グアム島、ロタ島、ティニアン島、サイパン島はかつての火山島であるが数千万年前に活動を停止した古島弧である。その西側の海底火山が若い時代の島弧火山である。噴火している「NW ロタ-1」はその一つ。